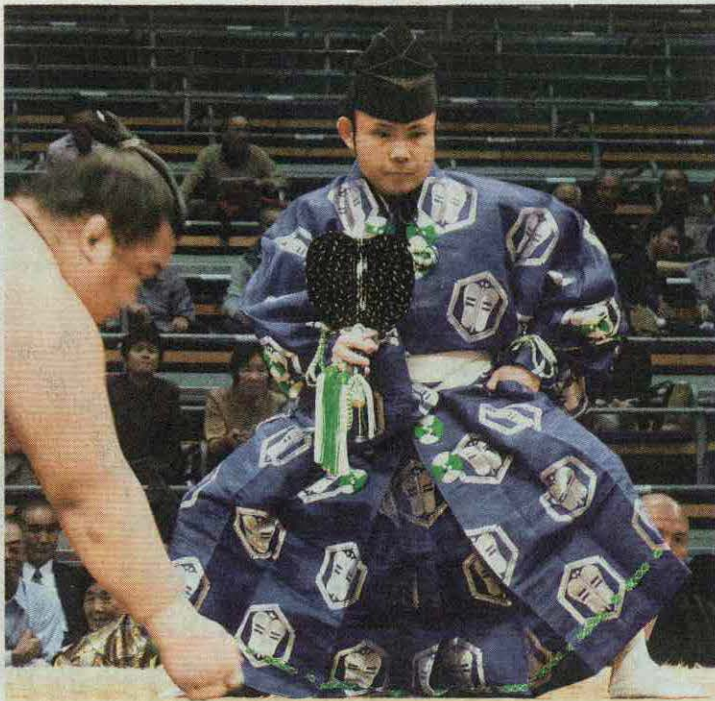


九州場所 念願の昇進

大相撲の力士は十両に上がると一人前とされるが、行司も同様だ。福岡国際センターで開催中の九州場所、木村勘九郎(36)＝本名中村佳己、北の湖部屋＝が十枚目格に上がった。あさぎり町出身の勘九郎は「多くの方に支えていただいた。地元九州でなれたのは運命だと思う」と感謝を口にした。

行司・木村勘九郎(あさぎり町出身)



大相撲九州場所、十枚目格に昇進し、勝負を裁く行司の木村勘九郎。10日、福岡国際センター

十枚目、はだしから白足袋に

昇進すると、はだしで立っていた土俵で白い足袋を履ける。9日の初日。土俵下の控えて、「白足袋を履きたい」との思いでやってきた。15歳のとき、かばん一つ持って入門したことを思い出した」と感極まった。

幼少から日本の伝統文化に興味を持ち、大相撲もテレビ観戦。中学1年のとき、戦前から行司を務めた第27代木村庄之助の定年インタビューに感動し、志した。「苦しい時代も経ながら、幸せだったと言いつける姿に心を打たれた」と明かす。

厳しい世界に心が折れそうになったこともあるが、女手一つで育てくれた母リツ子さんの叱咤激励などで踏みとどまった。初日、息子の晴れ舞台をたまり席から見たりリツ子さんは「好きで入った道で頑張ってきた。立派な姿だった」と目を細めた。

強い意志を感じさせる目に、洪い声。同じ年の行司、木村吉一郎は「とにかく真面目で一本気」と評する。一日1万歩を歩くなど足腰の鍛錬に余念がない勘九郎は「油断せず、ちゅうちよなく裁いていきたい。ますます修行を積み、人々に忘れられない行司になる」。

160センチ、60キの体を目いっぱい動かす。国技の一翼を担う。(高村)

買い物ポイント ロアッソに寄付

AC熊本が新システム



アスリートクラブ熊本が導入するポイントシステムの端末。登録や利用にはICカードを使う。ホテル日航熊本

ンがポイントをためながらロアッソに寄付ができる仕組みを1月から導入すると14日発表された。

福岡市の企業が開発した地域応援システム「OPPO」(オッポ)を活用。ICチップ付きの携帯電話やカードを使って専用端末で登録すると、利用金額に応じてポイントをためることが可能。

登録には大手スーパーやコンビニなどのICカードも利用できる。ロアッソへの寄付率は0〜100%の4段階から選べる。加盟

店は、小口スポンサー「絆ショップ」を中心に募集中。ためたポイントは加盟店すべてで使うことができる。

事務局のアンサー・インターナショナル(宇土市)によると、来年1月1日のサービス開始時で50カ所、来シーズンが始まる3月までに100カ所の設置を目指す。

同日、ホテル日航熊本で記者会見したAC熊本の池谷友良社長は「店やサポーター、クラブがお互いに利益になる関係を築き、地域の活性化に寄与したい」と話した。(三室久徳)

週間天

	15(土)	16(日)	17(月)	18(火)	19(水)	20(木)	21(金)
札幌							
東京							
名古屋							
大阪							